

本部名：紙屋中校区地域学校協働本部

連絡先：小林市教育委員会社会教育課
TEL：0984-22-7912
FAX：0984-23-9700

1 活動の概要

対象学校名	小林市立紙屋中学校、紙屋小学校	
活動分野	学習支援活動・環境整備・伝統芸能継承活動・世代間交流・交通安全活動・読み聞かせ	
【主な取組】	登下校見守り（通年）、読み聞かせ（通年）、環境整備（6月、9月）、田植え（6月）プール清掃（6月）、陶芸教室（中＝6月）、生活科：七夕飾りづくり、昔のあそび（小＝7・1月）小中合同運動会（9月）、家庭科：裁縫（小＝6・7・10月）、城攻め踊り指導（小＝8・9月、中＝10月）稲刈り、世代間交流（11月）、餅つき・しめ縄づくり（中＝12月）、昔のあそび（小＝1月）	
【連携・協働している機関】	・紙屋小PTA・紙屋中PTA・読み聞かせグループ「たんぼぼ」・「城攻め踊り」保存会・紙屋校区社会福祉協議会 ・紙屋一徳まちづくり協議会・個人事業主 など	
○地域学校協働活動推進員（コーディネーター）	2人 ○ボランティア登録者数	43人

2 特色ある取組の紹介

①「地域の伝統芸能（紙屋城攻め踊り、紙屋音頭）の継承活動」

《ここがイチオシ！本部自慢！》



「紙屋城攻め踊り」保存会や地域の高齢者の方々が、小・中学生に踊りを指導し、伝統芸能を継承している。

○ 活動内容

- ・4年生時に「城攻め踊り」の歴史について解説してもらい、小学生は8～9月中学生は10月に踊りや唄の指導を受け、小中合同運動会で小学生が、文化祭で中学生が踊りを披露した。また、小学生はほぜ祭りやのじりこびあ桜祭り等でも踊りを披露している。
- ・運動会練習時に地域の高齢者の方々に「紙屋音頭」の指導を受け、当日には児童生徒のみならず、保護者、地域の方等も一緒になって盛大に踊っている。



【小中合同運動会での城攻め踊り】

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・地域の方は、児童生徒の踊る姿を見ることで「元気がもたらえた」と、とても喜んでいました。一方、児童生徒は伝統芸能を披露し、喜んでもらえることで、自分たちの故郷に誇りと自信を持つようになった。伝統芸能を通して世代間の交流が進み、地域の活性化にも繋がった。

②「田植え・稲刈り・餅つき」

《ここがイチオシ！本部自慢！》



地域の方々の協力を受けながら、稲作活動を実施している。収穫したもち米は、小学校では卒業時の紅白餅に、中学校では持久走大会時の餅つきに使用している。このような活動を通して、食への感謝と地域交流を深めている。



【小中合同での田植え】

○ 活動内容

- ・小学校5年生と中学校1・2年生が合同で稲作活動を行っている。田植えの後は定期的に稲の生長を観察し、まとめを掲示したり、文化祭で発表したりしている。収穫したもち米は、校区社協の方の手作りの紅白餅として卒業祝いに配ったり、生徒、保護者、地域の方々全員で餅つきをしたりしている。このような活動を通して食文化の継承と世代間交流を行っている。

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・児童は自分たちで植えたり、刈ったりした経験を通して食への関心を高めることができた。また、生徒は自分たちが収穫した餅米が餅になったことに感動し、食への感謝を考えることができた。紅白餅を作ってくれた校区社協の方や餅つきに参加された高齢者の方々は、学校行事に貢献できたことや生徒との交流ができたことに満足されていた。



【小中合同での稲刈り】